

## 改善のポイント

製品を施工する全体の概要と工事の種類を、イラストを含めて説明します。この説明書で説明している作業の範囲を前後の工事との連携を図ります。

## point 3

施工の全体の流れとおおまかな作業内容と、この説明書で説明している内容をイラストとともに明示

## point 1

工事の種類を明示

## 工事区分と説明内容について — 知っておください

### 1 建設工事について

- 新築や改築、リフォームの現場ではシステムキッチンの取付・設置の前後に「建設工事」が必要です。
- 「建設工事」には、大工工事・電気工事・ガス配管工事・管工事（給排水）・建具工事などがあります。

#### 警告

- 建設工事（大工工事・電気工事・建具工事・管工事など）は、関連する法令・規定に従って、必ず有資格者が行う。法令に違反することになり、火災や感電・ガス漏れ・水漏れのおそれがあります。

### 2 事前工事と事後工事について

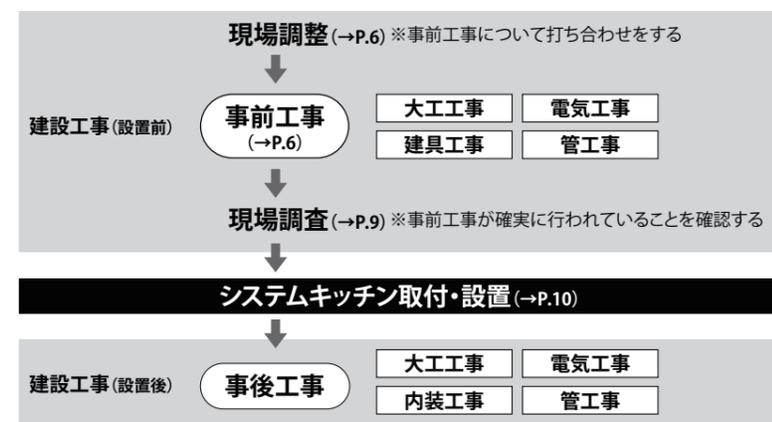
- システムキッチンの取付・設置の前に行う建設工事を「事前工事」、取付・設置の後に行う建設工事を「事後工事」と呼びます。
- 事前工事・事後工事の作業内容は右表を参照してください。
- 事前工事の前後に「現場調整」(→P.6)・「現場調査」(→P.9)を行い、事前工事が確実に実行されていることを確認してから取付・設置を行ってください。また、システムキッチンの取付・設置後は、事後工事が行われるので、引き継ぎを確実に行ってください。(→P.123)

#### 注意

- 事前工事の確認、事後工事への引き継ぎを確実に行う。システムキッチンの取付・設置が正しく行えず、使用者のかたがケガをしたり、扉・引き出しなどの動作不備が発生するおそれがあります。

### システムキッチン取付・設置の流れ

- 本書では、システムキッチンの取付・設置と建設工事（事前・事後工事）を区別して説明しています。
- 事前・事後工事で行う説明内容については、以下のアイコンで表しています。



- BL認定品には製品や施工の瑕疵、その瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。

## point 2

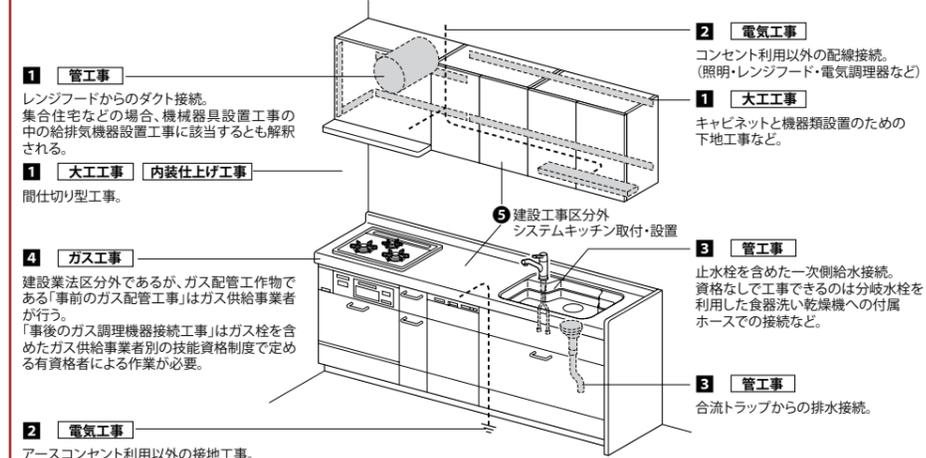
システムキッチンの施工に必要な全体像を明示

### システムキッチンの工事区分表 (例)

内が本書で主に説明するシステムキッチンの取付・設置作業です。※作業名称や作業内容は例です。実際の工事工程表を確認してください。

工事区分	工事の種類	工事・作業のなまえ(区分)	有資格者が行う					作業内容	
			建設業区分	建設業外	大工	管	電気		ガス
建設工事	事前工事 (→P.6)	1 大工工事	外壁の開口工事	○	○				建築壁にレンジフードのダクト用の穴を開ける
		管工事	建築壁の地下処理工事	○					キャビネットなどを取り付けるために壁面の地下処理をする
			排気ダクトの関連工事		○				建築物へ排気ダクトを配管する
			キッチンパネルの地下処理工事	○					キッチンパネルを貼るために壁面の地下処理をする
	システムキッチン取付・設置 (→P.10)	2 電気工事	レンジフードの電源アース工事			○			屋内配線と配線器具(コンセント)工事をする
			加熱機器の電源アース工事			○			加熱機器の事前電気工事をする
		3 管工事	ウォールキャビネットの電気工事			○			屋内配線と配線器具(照明)の接続・検査工事をする
			電動昇降機の電源工事			○			電動昇降機の専用電源・アース工事をする
			食器洗い乾燥機の電源・アース工事			○			食器洗い乾燥機の専用電源・アース工事をする
			その他電気機器の電源工事			○			屋内配線と配線器具(コンセント)工事をする
4 ガス工事	排水配管の立上工事			○			キッチンの排水用配管を所定位置へ立ち上げる		
	給水給湯配管立上工事			○			キッチンの給水給湯用配管を所定位置へ立ち上げる		
建設業区分外	5 システムキッチン取付・設置 (→P.10)	食器洗い乾燥機用給排水配管工事			○			食器洗い乾燥機用の給水給湯・排水用配管の事前工事	
		ガス調理機器のガス配管				○		ガス調理機器用の事前ガス配管工事	
	建設業区分外	キッチンパネル貼付作業(→P.12)					○	キッチンパネルを加工して建築下地へ貼り付ける	
		レンジフード取付作業(→P.13)					○	本体および化粧パネルを取り付ける	
		ウォールキャビネットの準備・取付作業(→P.13)					○	ウォールユニットを壁へ取り付ける	
		電動昇降ウォールキャビネット取付作業					○	電動昇降ウォールキャビネットを壁へ取り付ける	
		フロアキャビネット・トップの設置・取付作業(→P.30)					○	キャビネットやトップを組み立て、設置する	
		キッチン排水用部品の組立作業(→P.93)					○	排水トラップ部品をシンクに取り付ける	
		水栓の組立・トップへの取付作業(→P.93)					○	水栓・浄水器の同梱部材を組み立て、トップに取り付ける	
		ビルトイン機器の取付作業(→P.105・107)					○	ビルトイン機器をキッチン本体に組み込む	
製品間のシリコン充填作業(→P.120)					○	製品間のすき間を仕上げ処理する			
試運転・完成品検査(→P.123) (※)					○	完成後の試運転、性能の確認検査をする			
建設業区分外	6 電気工事	ウォールキャビネット照明器具工事			○			事前配線した電源線と照明器具を接続し、検査する	
		電気配線器具の取付作業			○			スイッチやコンセントなどの電気配線工事をする	
	7 ガス工事	レンジフードとダクト接続工事			○			ダクトとレンジフードを接続し、検査する	
		その他電化機器の工事			○			電化機器と電源線、アースを接続する	
建設業区分外	8 管工事	ガス調理機器のガス管接続				○		ガス調理機器とガス配管の配管接続工事をする	
		給水給湯配管と水栓の接続			○			給水・給湯の一次側と水栓を接続し、検査する	
		給水給湯配管とオプション機器の接続			○		オプション機器と一次側給排水を接続し、検査する		

※製品の完成品検査、試運転は、事後工事完成後に行う場合が多い。



point 4

製品と施工の全体像を明示

## 取付・設置前には

### 1 現場調査をする

事前工事(→P.6~P.8)が確実に行われていることを確認してください。

不備がある場合は手直しが必要ですので、現場責任者に不備のある場所や内容を伝えてください。

### 2 養生をする

製品の搬入や作業前に、他の建具や建材、搬入路の床や壁・天井・エレベーター内、取付・設置場所を傷つけないように、しっかり養生してください。

#### ⚠️ 注意

- ❗ 製品を荷受けする前に、搬入路や仮置位置に養生をしっかりと行う。  
搬入路や製品を傷つけたり、破損させるおそれがあります。

### 3 搬入された製品を確認する

製品の荷受時に、以下のことを確認してください。

- 外装箱が凹んでいたり、傷ついたりしていないこと。
- 製品が、図面と同じであること、注文と同じ色であること。
- 注文した製品と納入された製品の左右勝手やガス種、周波数など。

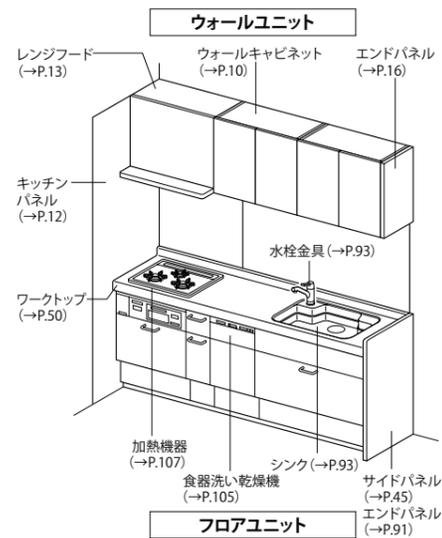
#### ⚠️ 注意

以下の内容を守らないと、製品が破損し、ケガをする原因になります。

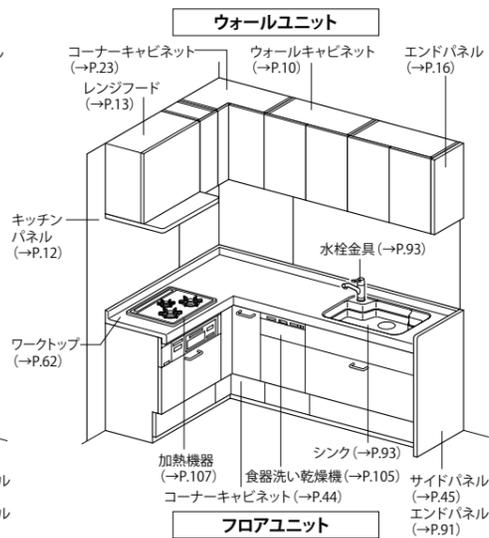
- ❌ 外装箱の表示に従って、注意して搬入し、乱暴に取り扱わない。
- ❌ 搬入路の床や壁・天井などに製品をぶつけない。

## 各部のなまえ

### I型レイアウト

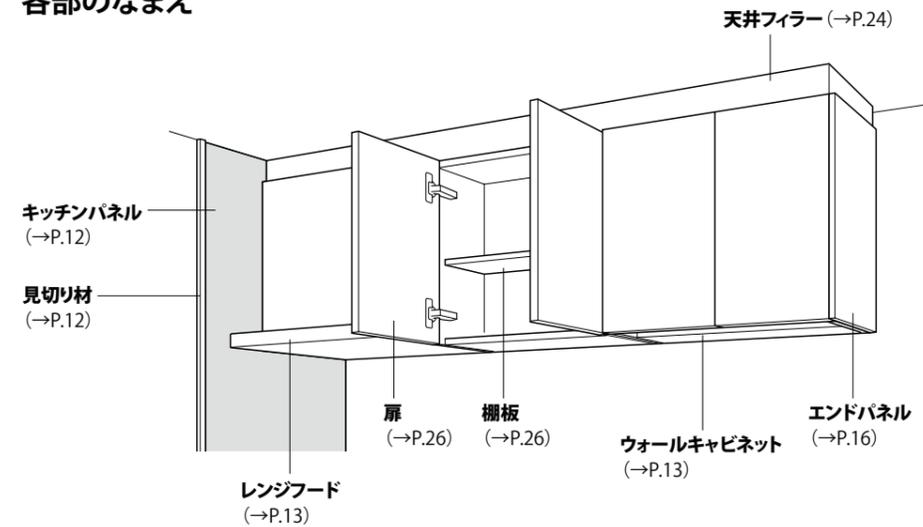


### L型レイアウト



## ウォールユニットの設置概要

### 各部のなまえ



### ウォールユニットの取付・設置の流れ

- ① 壁面に凹凸がないことを確認する ..... 11
- ② 取付位置寸法に合わせて基準線を出す ..... 11
- ③ キッチンパネルと見切り材を取り付ける ..... 12
- ④ 不燃フィラーを取り付ける ..... 12
- ⑤ レンジフードを取り付ける ..... 13
- ⑥ 締結部品類を確認する ..... 13
- ⑦ ウォールキャビネットを取り付ける ..... 13
- ⑧ 天井フィラーを取り付ける ..... 24
- ⑨ 付属品・扉を取り付ける ..... 26
- ⑩ 扉を調整する ..... 27
- ⑪ 扉キャッチの動作確認・調整をする ..... 28
- ⑫ 清掃する ..... 28
- ⑬ 養生する ..... 29

## 改善のポイント

平面図では数値や比較、差異を表し、立体図では具体的にイメージを持ってもらいます。イラストに役割を与え、理解を促します。

## point 6

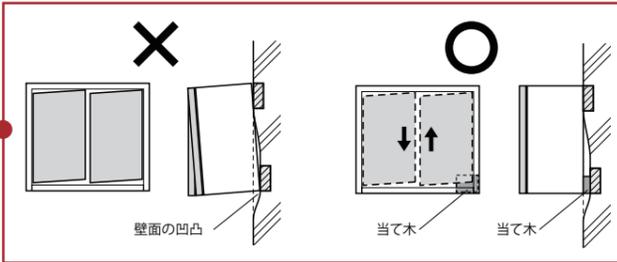
立体図で製品や作業を、より具体的に表現

## point 5

平面図で比較や差異、数値を表現

### 1 壁面に凹凸がないことを確認する

ウォールユニットを取り付ける壁面に凹凸があると、扉位置にズレが生じて正しく閉めることができません。壁面が平らであることを確認してください。壁面に凹凸がある場合は、当て木をはさむなどして調整してください。



### 2 取付位置寸法に合わせて基準線を出す

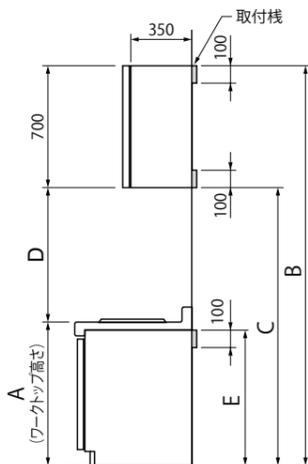
#### 2-1 キャビネットの取付高さを確認する

下図は、参考取付位置図です。ウォールキャビネットは、ミドルタイプH700を示します。ワークトップの高さによって、ウォールキャビネットの取付位置が異なります。

(単位:mm)

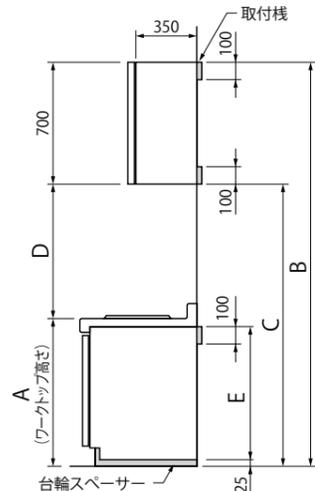
A(ワークトップ高さ)	B	C	D	E
800	2300	1600	800	778
825	2300	1600	775	778
850	2350	1650	800	828
875	2350	1650	775	828
900	2350	1650	750	878

●ワークトップ高さ800・850・900の場合



●ワークトップ高さ825・875の場合

※フロアユニットの下に台輪スペーサーを取り付けます。



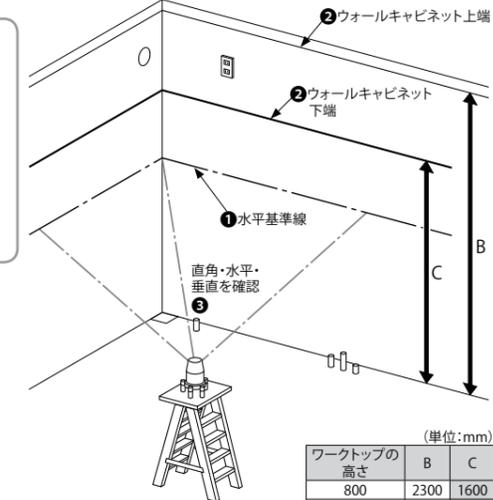
②取付位置寸法に合わせて基準線を出す

### 2-2 取付・設置の基準線を出す

#### ⚠注意

①必ずウォールキャビネットを設置する場所の水平・垂直・直角度・レベルを正確に確認し、基準線を出す。ウォールキャビネットが水平・垂直が出ないために、扉キャッチが正常に作動せず、ケガをするおそれがあります。

- 1 レーザーや水準器などで各コーナーにポイントを取り、水平基準線を出す。①
- 2 水平基準線と平行に、「2-1」で出したウォールキャビネット下端と上端に、墨出しをする。②
- 3 床、壁面、天井の直角と水平、垂直をレーザーや水準器などで確認する。③

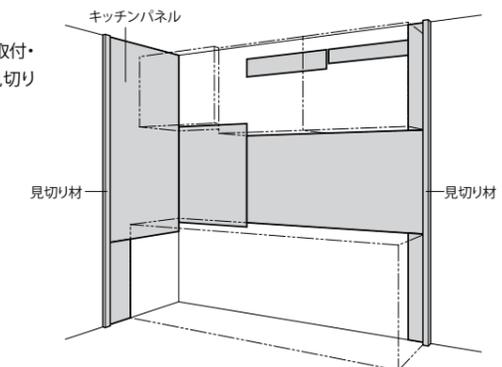


(単位:mm)

ワークトップの高さ	B	C
800	2300	1600
825	2300	1600
850	2350	1650
875	2350	1650
900	2350	1650

### 3 キッチンパネルと見切り材を取り付ける

キッチンパネルの接着剤・両面テープセットに付属の「取付・設置説明書」を参照して、キッチンパネルを壁面に、見切り材をキッチンパネルに取り付けてください。



### 4 不燃フィラーを取り付ける ※不燃フィラーがある場合のみ

不燃フィラーに付属の「取付・設置説明書」を参照して、壁面とレンジフードの間に取り付けてください。